

平成22年度 概算要求主要事項

【説明資料】

文 部 科 学 省
ス ポ ー ツ ・ 青 少 年 局

目 次

スポーツ立国の実現を目指したスポーツの振興

国際競技力向上の推進、地域のスポーツ環境整備の推進及び学校体育の充実

1. 国際競技力向上の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 地域のスポーツ環境整備の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
3. 学校体育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

豊かな心と健やかな体の育成

1. 学校すこやかプランの充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
2. 子ども安心プロジェクトの充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
3. 食育推進プランの充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28

青少年の健全育成の推進

1. 青少年の意欲を高める体験活動の推進・・・・・・・・・・・・30
2. 青少年を有害環境から守るための取組の推進・・・・・・・・32
3. 子どもの読書活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

スポーツ立国の実現を目指したスポーツの振興

国際競技力向上の推進、地域のスポーツ環境整備の推進及び 学校体育の充実

(前年度予算額 22,529,344千円)
22年度概算要求額 22,880,257千円

【国際競技力向上の推進】

～世界で活躍するトップレベル競技者の育成・強化～

1. 要求要旨

スポーツ振興基本計画(平成12年9月策定)に掲げる政策目標の一つである「早期にメダル獲得率 3.5% ※」の実現を図るため、競技力向上ナショナルプロジェクト及びナショナルトレーニングセンターの整備推進など重点的な強化対策を講じる。

※ 2008年北京 2.61% 2006冬季トリノ0.40% あわせて 2.15%

2. 要求内容

(2,713,744千円)

(1) 日本オリンピック委員会補助

2,713,744千円

ロンドンオリンピック競技大会等に向けた選手強化事業を実施するとともに、第1回ユースオリンピック競技大会等に日本代表選手団を派遣する。

(608,143千円)

(2) 競技力向上ナショナルプロジェクト【拡充】

914,360千円

(308,143千円)

① チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業

615,137千円

トップアスリートが世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、情報の収集、スポーツ医科学・栄養学等の活用、用具・機器・トレーニング方法の開発などの多方面からの高度な支援を戦略的・包括的に実施する。

【8競技種目 → 12競技種目】

(300,000千円)

② 次世代アスリート特別強化推進事業

299,223千円

オリンピック競技大会で活躍する次世代のアスリート育成に向け、競技団体の強化活動全般を統括するナショナルコーチを配置し、競技団体のレベルアップを図る。

(3) 競技者・指導者等のスポーツキャリア形成支援事業【新規】

180,947千円

競技者・指導者等が、ジュニア期から引退後まで、スポーツの経験を活かして社会の各分野で活躍できる基盤(スポーツキャリア)の形成を図るため、キャリアデザインの啓発や国際的スポーツ人材の養成及び企業アスリートの支援などにより、安心してスポーツに取り組める環境を整備する。

- (4) ジュニアエリート支援プログラム【新規】 20,594千円
 ナショナルレベルにつながる競技者の発掘及び長期休業期間を活用した強化合宿を行う都道府県レベルの競技団体に対し支援を行うとともに、JOCエリートアカデミー生について、学校教育の支援プログラム開発、心のケアや進路相談等、学習・生活面のサポート体制を確立する。
- (3,096,538千円)
- (5) ナショナルトレーニングセンター（NTC）の整備推進 2,279,268千円
 【主な事業】 (612,856千円)
- ① NTC競技別強化拠点施設活用事業 611,373千円
 冬季、海洋・水辺、屋外系のオリンピック競技及び高地トレーニングについて、既存のトレーニング施設を競技別のNTCに指定の上、施設を活用した事業を実施し、国際競技力の向上を図る。
- (1,704,343千円)
- ② NTC宿泊施設の整備 1,634,918千円
 NTCを拠点とするエリートアカデミー生や専任コーチ等が長期滞在できる宿泊室の整備を含め、現行の宿泊施設（258人収容）を拡充する。
- (461,080千円)
- (6) ドーピング防止活動の推進 443,213千円
 ドーピングの撲滅のため、「教育」「研究」「人材育成」に重点を置いて事業を推進する。

世界で活躍するトップレベル競技者の育成・強化

スポーツ振興基本計画の政策目標「**早期にメダル獲得率 3.5%***」の実現

※ 2008年北京 2.61% 2006冬季トリノ0.40% あわせて 2.15%

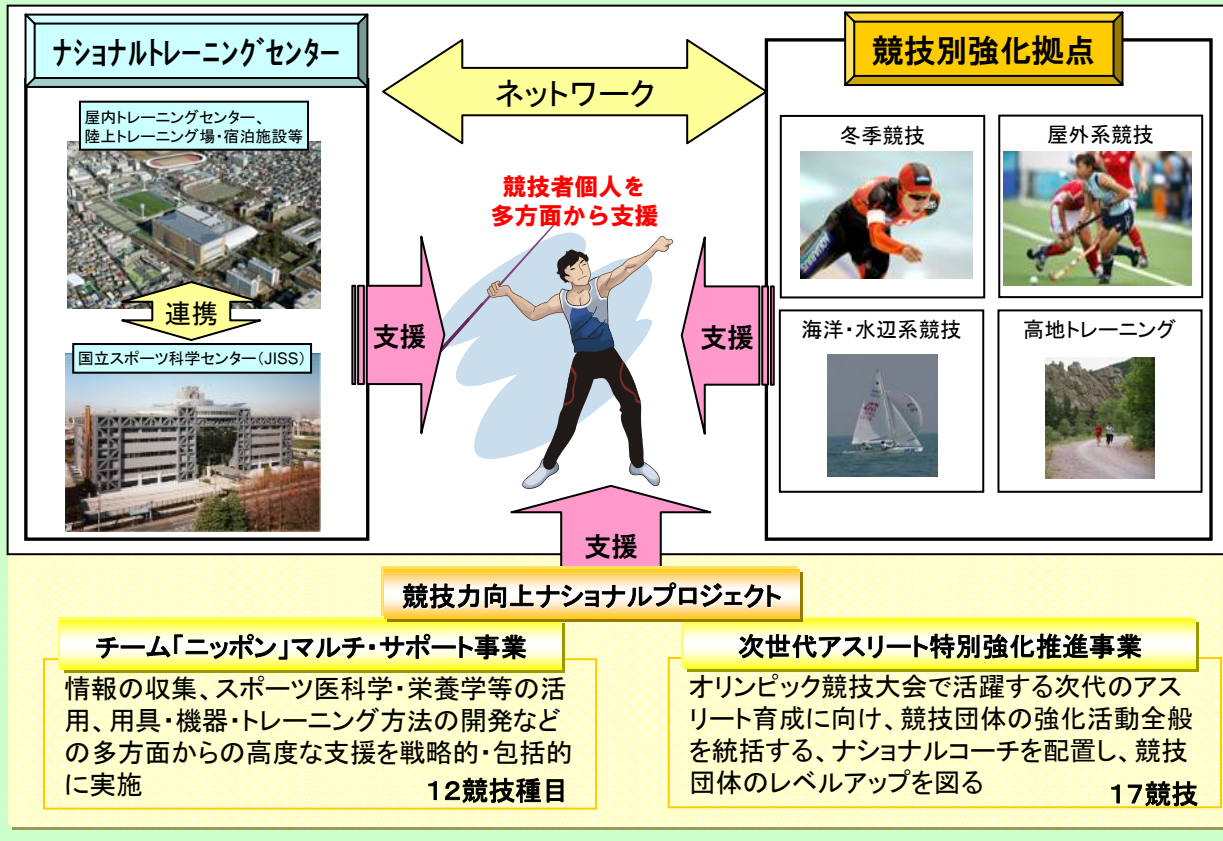
各競技団体を支援し競技力の向上の基盤となるJOC補助に加え、
 トップレベル競技者が能力を最大限に発揮できるよう、トレーニング環境の改善及び
個々の競技者に応じたきめ細やかな支援を充実

世界で活躍するトップレベル競技者の育成・強化 —国際競技大会へ向けた競技力強化—

- 個々の競技者に応じたきめ細やかな支援
 - ・ チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業
 - ・ 次世代アスリート特別強化推進事業
- トレーニング環境の改善
 - ・ NTC競技別強化拠点施設の活用
 - ・ NTC宿泊施設の増築
- 国際競技力向上に向けての基盤的財政支援の推進
 - ・ JOCへの国庫補助

ドーピング防止活動の推進

- ドーピングの撲滅のため、「教育」「研究」「人材育成」に重点を置いて事業を推進



競技力向上ナショナルプロジェクト

トップレベル競技者が世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得するために推進する。

○チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業(拡充)

情報の収集、スポーツ医科学・栄養学等の活用、用具・機器・トレーニング方法の研究開発を一層充実するなど、多方面からの高度な支援をこれまで以上に戦略的・包括的に実施し、トップレベル競技者のレベルアップを図る。ターゲット種目として、現在の夏季8種目に加え、新たに冬季4種目を選定し、計12種目について実施する。

○次世代アスリート特別強化推進事業

オリンピック競技大会で活躍する次世代のアスリート育成に向け、競技団体の強化活動全般を統括する、ナショナルコーチを配置し、競技団体のレベルアップを図る(17競技団体)。

チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業

トップレベル競技者に対する
多方面からの高度な支援
の戦略的实施

特別支援チームによる
サポート活動
プロジェクトチームによる研究
開発



<12競技種目のターゲット種目>

・バンクーバーオリンピックや世界選手権での活躍、
競技団体ヒアリング等から検討し、現在の夏季8種目
に加え、新たに冬季4種目を選定

金メダルの獲得数 UP
メダル獲得総数 UP

<17競技団体>

・JOCの競技団体ランクに基づく、メダル獲得
の可能性の高い競技団体

基盤的強化

JOC補助(強化合宿、海外遠征)等 → 選抜された強化選手等の競技力向上を図る。

次世代アスリート特別強化推進事業

オリンピック競技大会で活躍する
次世代のアスリートの育成に向けた特別強化

ナショナルコーチによる中・長期的な強化戦略プランづくりによる
実働的な強化活動の推進

競技者・指導者等のスポーツキャリア形成支援事業

競技者・指導者等が、ジュニア期から引退後まで、スポーツの経験を活かして社会の各分野で活躍できる基盤(スポーツキャリア)の形成を図るため、キャリアデザインの啓発や国際的スポーツ人材の養成及び企業アスリートの支援などにより、安心してスポーツに取り組める環境を整備し、国際競技力の向上を図る。

スポーツキャリア 大学院プログラム



JISS、NFと連携し、JOCナショナルコーチアカデミーなどの講義・演習等を大学院の単位として認定するなど、実践と理論、諸科学を組み合わせた教育プログラムを開発



現役を引退したトップレベルの競技者等が、自らの競技者としての貴重な経験・ノウハウ等を次代の競技者に伝え、国際競技力の向上を図る

国際的スポーツ 人材養成プログラム



スポーツ団体の優れた人材を国際スポーツ団体等に派遣し、国際的なスポーツ政策立案について研修する機会を提供



国際スポーツ団体の政策決定過程において、情報収集・発信を行える人材を養成し、国際的なスポーツ界における我が国の情報収集・発信能力を高める

キャリアデザイン 支援プログラム



ジュニア競技者(ユースエリート)、指導者、保護者、競技団体のスタッフ等に対して、競技生活初期からのキャリア意識の向上やキャリアデザインの重要性等についての理解を促進



ジュニア競技者に自らのキャリアデザイン形成の契機を与え、安心して競技に取り組むなど、ジュニア期からの計画的な競技者養成を図る

企業アスリート 支援プログラム



企業アスリートのためのキャリアサポートを行うとともに、試合等参加のための経費を支援



企業スポーツの休廃部等により競技生活に支障をきたすアスリートの活動を支援し、トップアスリートが安心して競技に専念できる環境を整備する

ジュニアエリート支援プログラム

国際舞台で活躍するジュニアエリートを計画的に発掘・育成・強化し、きめ細かく支援することにより、国際競技力の向上を図る。

ジュニア世代

発掘

育成

強化

競技面の強化

学習・生活面のサポート

国際競技力の向上

ナショナルレベルにつかながるジュニアタレントの発掘及び強化合宿などの一貫指導・育成を一層効果的・効率的に行うため、都道府県レベルの競技団体をモデル的に支援し、その成果を普及

- ・次世代アスリート発掘・育成委員会の開催
- ・タレント発掘オーディションの開催
- ・長期休業期間を活用した強化合宿への支援
- ・タレント発掘から一貫指導・育成の実績をあげているPF(県競技協会)に委託(10団体程度)

JOCエリートアカデミー生などジュニアエリートの学習支援及び生活面のサポートを実施

- ・学校教育の支援プログラム開発
- ・心のケアや進路相談等に対する生活面のサポート体制を確立
- ・ジュニアエリートの学習及び生活面のコンサルティング・支援等ができる団体に委託

<参考> **JOCエリートアカデミー**

全国から将来有望な中学・高校生のアスリートを集めて、NTCに寄宿し、中学・高校に通いながら、NTC専任ディレクターや専任コーチのもと、さまざまなトレーニングを受け、競技力の向上を図る。(平成21年度現在、18名が在籍)